

各 位

令和7年度稲作情報 第6号について

このことについて、送付しますので業務及び水稻栽培の参考にしてください。

令和7年度 稲作情報 第6号

唐津農林事務所 東松浦農業振興センター長

1 気象概況(観測点:唐津アメダスデータ)

※表記方法:6 半旬別(1ヶ月を6 分割。1 半旬は1～5 日となります。)

気温:平均 降水量・日照時間:合計

※平年値:平成22年～令和2年(11か年)の平均値

月	半旬	平均気温 (℃)		最高気温 (℃)		最低気温 (℃)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7	平年	R7
5	4	19.4	22.1	24.3	26.3	15.0	18.3	22.2	35.0	35.5	21.4
	5	19.9	18.2	24.8	21.5	15.7	16.2	17.8	133.0	34.0	8.0
	6	20.4	17.7	25.0	22.9	16.5	13.6	18.5	0.0	37.1	41.4
6	1	20.9	20.0	25.2	25.5	17.3	15.4	18.2	19.0	27.3	41.2
	2	21.4	21.5	25.4	25.6	18.2	18.4	27.2	104.5	24.5	7.1
	3	21.9	22.8	25.7	25.8	19.0	20.2	40.5	64.5	22.3	1.3

6 月 3 半旬の平均気温は平年よりやや高く推移した。連日の降雨により、降水量は平年の 1.6 倍程度と多く、日照時間は平年の 1 割未満と非常に短かった。

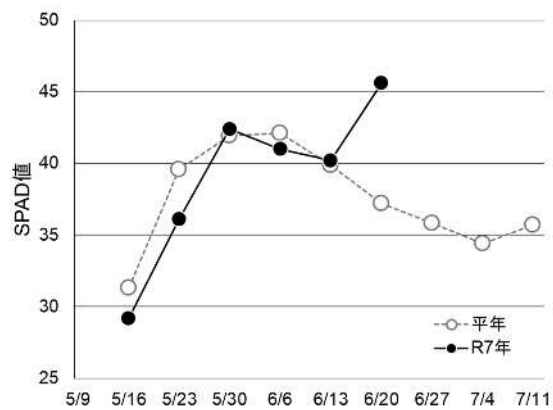
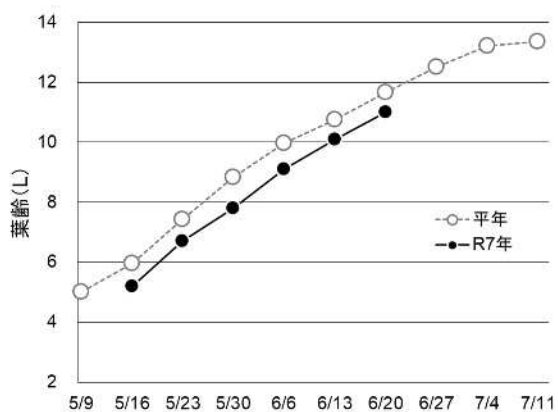
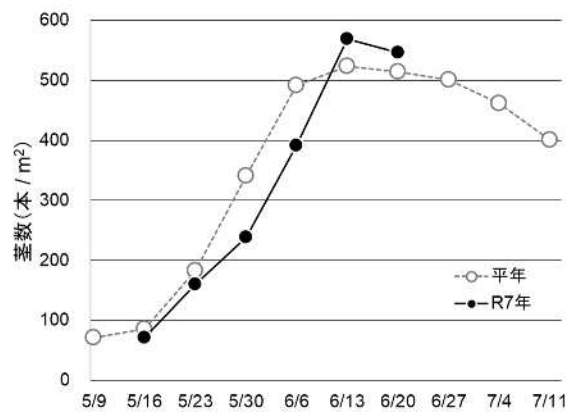
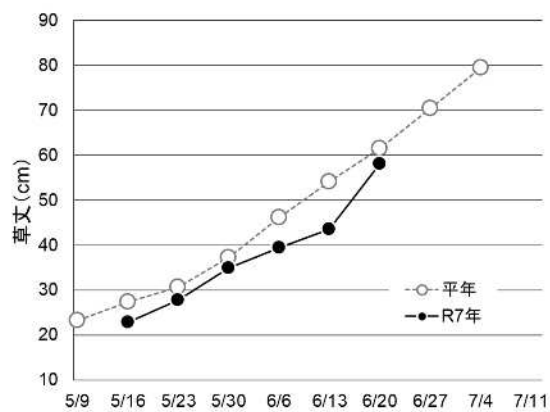
2 生育状況

上場コシヒカリ情報田調査結果 鎮西町潟 4 月 25 日移植 17.8 株/m²(59 株/坪)

(6月16日調査結果)

項目	本年	前年	平年	前年比・差	平年比・差	備考
草丈(cm)	58.1	58.6	61.6	99	94	やや低い
茎数(本/m ²)	546	473	514	116	106	やや多い
葉齢(L)	11.0	11.2	11.7	-0.2	-0.7	遅い
葉色(SPAD)	45.6	37.3	37.2	8.3	8.4	濃い
葉色(葉色板)	4.5	3.3	3.3	1.2	1.2	濃い

※平年値:平成30年～令和6年までの値から最高・最低値を除いた平均値



草丈は順調に伸び、平年値に近づいている。葉齢は依然として遅れがみられるものの、茎数は最高分げつ期を経過し、平年よりもやや多く推移している。葉色 (SPAD 値) については、生育前半は薄かったが、気温の上昇とともに葉色が出現し、平年と比べて濃くなった。

3 今後の管理について

(1) 水管理

- ・4 月中に移植された多くの圃場でまもなく幼穂形成始期を迎えます。幼穂形成期～穂ばらみ期は水を必要とするため、白乾状態とならないように注意しながら間断灌水を行いましょう。中干しが十分でない圃場では、落水期間を長くして地面を固めてください。
- ・5 月上旬以降に移植され、有効茎が確保された圃場は中干しに移りましょう。中干しは田面に軽い亀裂が入り、足を踏み入れば足跡がわずかに付く程度まで行います。梅雨入りの遅れにより降雨が続くため、水尻を開けて落水管理としてください。

(2) 病虫害防除

- ・イネクロカメムシが見られる圃場ではスタークル粒剤を散布してください。
- ・畦畔雑草は斑点米カメムシの増殖・飛来源となります。例年斑点米カメムシによる被害が見られる圃場では、出穂 10 日前まで(6 月末まで)に除草を行いましょう。出穂直前以降に除草を行うと、畦畔に生息する斑点米カメムシが圃場内に移動し被害が助長されます。出穂直前から収穫間際までは除草作業を見送るようになしてください。
- ・曇雨天が続き、いもち病が発生しやすくなっています。常襲田では田回りを行い発生に注意してください。いもち病が発生した場合はオリブライト豆つぶを散布してください。また補植用の置き苗はいもち病の発生源になるので早急に処分してください。



イネクロカメムシ

(3) 施肥管理

○コシヒカリ

- ・下位節間(第 4 節間)の伸長は出穂 23 日前頃から始まり、18 日前頃に最盛期となります。この時期に穂肥を施用すると節間伸長が助長され倒伏のおそれがあります。「コシヒカリ」のような倒伏に弱い品種は、この時期を経過した出穂 16～18 日前が穂肥施用時期です。

(参考:情報田平年値)

移植期:4 月 23 日 出穂期:7 月 11 日 穂肥施用時期:6 月 22～24 日

※圃場毎に生育ステージ・葉色・生育量が異なるため、下記穂肥診断基準を目安に穂肥施用時期と施用量を決定してください。

コシヒカリの出穂前日数と幼穂長の関係

出穂前日数	26	23	20	18	15	12
幼穂形成始期からの日数	0	0～3	3～6	6～8	8～11	11～14
幼穂長 (mm)	1	1～3	8～12	15～20	25～30	30～
草丈 (cm)	～72	～75	～78	～80	～83	83～
穂肥施用時期				←→		

※幼穂長15～20mmの時（出穂18日前頃）が穂肥施用時期。

穂肥診断をした時の幼穂長が1mmの場合、その5日後に穂肥を施用する。

コシヒカリ穂肥診断基準（穂肥施用時）

葉色	葉色板		SPAD	幼穂長 (mm)	出穂前 日数	施用量 有機入りBB454
	群落	単葉				
淡い	～3.0	～3.5	～34.0	2	24～25	15kg/10a
	3.0～3.3	3.5～3.8	34.0～36.0	5	22	
標準	3.3～3.7	3.8～4.2	36.0～39.5	15	18	7～10kg/10a
濃い	3.7～	4.2～	39.5～	15～	～18	施用しない

※穂肥施用時期の葉色（SPAD）が36.0～39.5、草丈が80cm以下であれば、有機入りBB454を10kg/10a施用する。

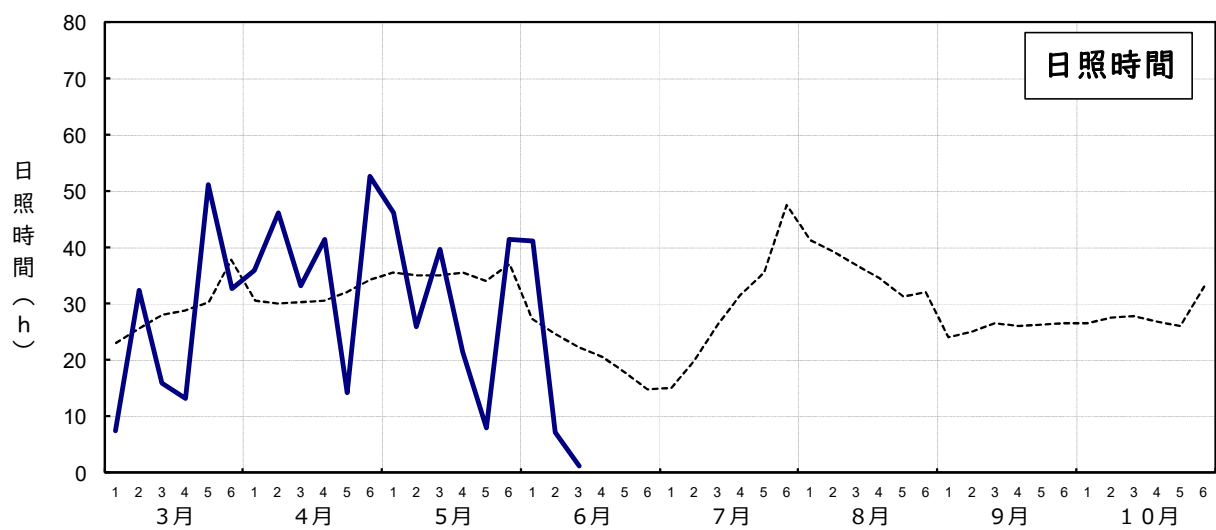
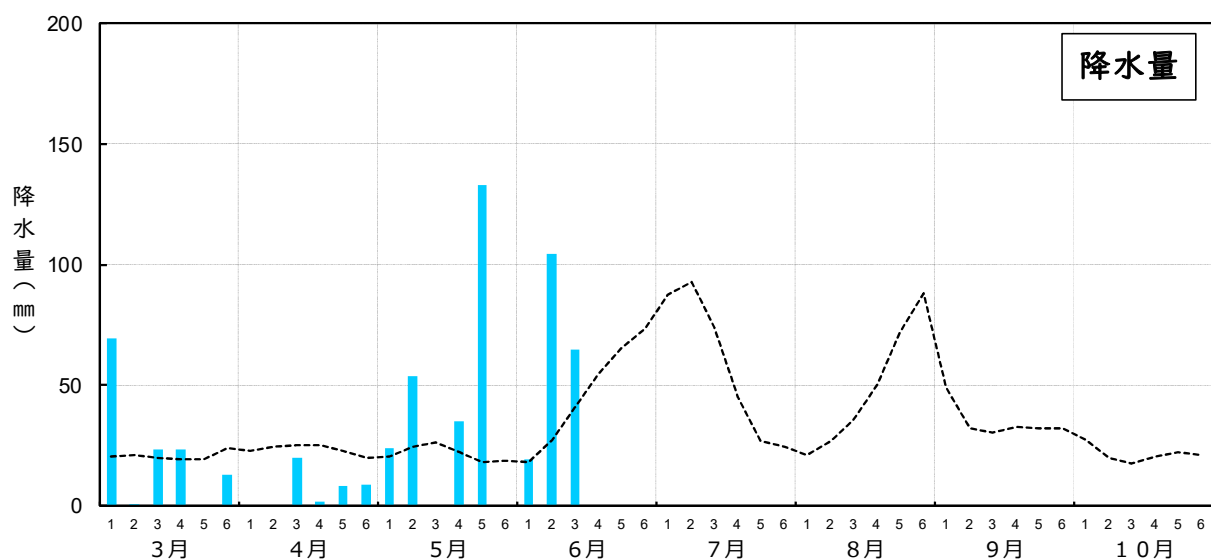
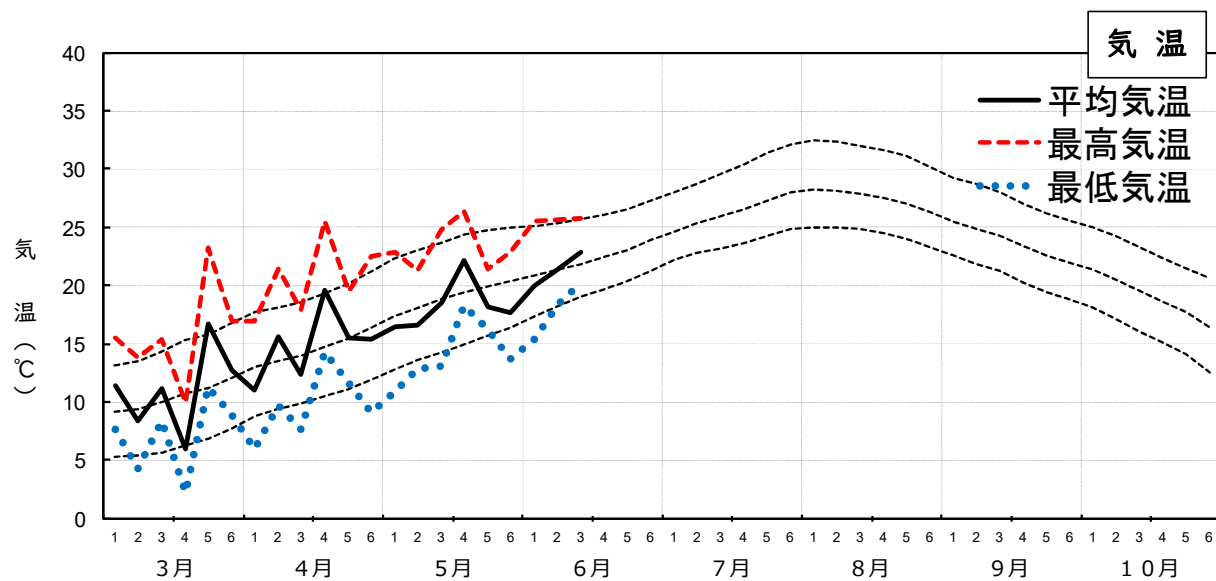
〇つや姫

- ・「つや姫」は佐賀県特別栽培農産物の登録を受けるために、化学肥料由来窒素量の上限值（3.5 kg/10a）を守る必要があります。そのため、「つや姫」の穂肥にはなたねペレットを使用してください。なたねペレットは化学肥料と比べて窒素の肥効発現に時間がかかるため、早めに施用します。7月に入ると施用時期になりますので準備をお願いします。

（参考：令和2年度結果）

移植期：5月16日 出穂期：7月29日

令和7年産 水稻作付期間気象図 アメダス観測値(唐津)



注) 平年値: 平成 22 年～令和 2 年の平均値